

I. 事業活動の総括（平成13.4～平成14.3）

日本経済再生への険しい道程

世界経済の中における日本経済の存在は、経済大国を誇った80年代があったことが不思議に思われるほど薄れてきました。

振り返って見ると、日本経済は今年に持ち込まれた不良債権処理、リストラによる大量の失業者の出現、自動車、食肉、大型小売業など不祥事の発生とその処理の不手際による企業危機などマイナス解消に力点が置かれ、泥沼に足を踏み入れたように、動くほど深みにはまっていく感すらあると言わざるを得ない状況で推移してきました。

そして、9月11日のニューヨークで起きた世界貿易センタービル破壊のテロ事件は、世界経済の流れを変える程のショックを自由経済圏に与えました。

日本に目をうつすと平成13年度のGDP（国内総生産）は、マイナス1.0%が予想され、失業率も5.6%と史上最高となり、増加傾向を脱却することなく期末を迎えました。

その間において、明日の産業と言われたIT産業は、企業基盤から揺らぎ、大手IT関係全企業が大幅な赤字に転落し、結果として大量のリストラに追い込まれました。

そして日本経済は、真にデフレスパイラルに陥り、経済を回復するためには、どのようにして現状を打開すべきか方向性と方策を決める重要な時を迎えました。

こうした状況下で中産連は、産業界、会員ニーズを的確にとらえ、企業の構造改革、新しいマネジメントシステムへの取り組み、現場改善、人材育成、そして企業のグローバル対応など強力な支援活動の展開により、当

初計画を上回る成果を上げることができた。

とくに、今期懸案であった日本経営管理標準 JMS (Japan Management Standard) が完成し、9月14日に広く産業界に披露（於：名古屋国際会議場白鳥ホール 参加者724名）し、3月6日には、日本経営管理標準推進機構（理事長にトヨタ自動車㈱代表取締役副社長 渡辺 捷昭氏就任）が発足し本格的に活動を開始しました。

本年度の主な実施事業は以下の通りです。

1. 国内コンサルティング事業活動

(1) 主要コンサルティングテーマの傾向

- ①企業のグローバルな展開に対応した、世界標準化、IT革新技術の適用、新しいビジネスモデルの構築
- ②徹底したコスト・リダクション、品質保証体制の確立、VM（目で見る経営）による在庫削減と生産期間の短縮、TPS導入による製造現場の改善
- ③提案型営業力の向上を主要テーマとしたコンサルテーションの実施
- ④かんばん方式と先進ITを融合させたフレキシブルでかつ業務効率の高いコンピュータ情報システムの導入推進
- ⑤新しい環境変化に適応する新人事システムの改革と併せて幹部社員の育成

(2) 実施プロジェクト件数

受注先	本部	東京	長野	総計
一般会員企業並びに非会員企業	391	116	14	521
専門機関、公共機関からの要請 (診断・コンサルテーション・調査)				52

2. 研究開発事業活動

(1) 職員の研究論文発表と受賞

①第53回全国能率大会発表論文（表彰：平成13年7月7日）

◇最優秀論文賞

「TPIシステムによる企業経営」 コンサルタント 小林 啓子

◇全能連賞

「QMSによる営業部門のプロセス・マネジメント」

コンサルタント 稲垣 信行

「SCM構築に役立つ『最小在庫量』診断プログラム」

—加工・組立型企業をとおして—

研究員 杉藤 里美

(2) 当連盟所属コンサルタントが研究開発した「マネジメント・ノウハウ」の紹介

①第14回 中産連マネジメント大会・名古屋会場

テーマ：「心の時代におけるマネジメントの革新」

平成14年3月1日(金) 於：名古屋東急ホテル

参加者：502名（第1部会273名、第2部会229名）

②第8回 中産連マネジメント大会・東京会場

テーマ：「経営革新への提言」～革新的マネジメント手法と推進事業～

平成13年10月22日(月) 於：アルカディア市ヶ谷

参加者：222名（経営部会121名、生産・ISO部会101名）

(3) 「日本経営管理標準JMS」

①完成披露の会

平成13年9月14日(金) 於：名古屋国際会議場白鳥ホール

講師：JMSの概要 専務理事 竹内 弘之

特別講演：日野自動車(株)社長 蛇川 忠暉氏

ソニーイーエムシーエス(株)美濃加茂テックプレジデント

加藤 典孝氏

②公開コース

「役員・上級管理者のためのJMS社内診断セミナー」

共通編：6回 受講者173名

各論編：18回 受講者329名

③「日本経営管理標準JMS推進機構」スタート

平成14年3月6日 於：名古屋ヒルトンホテル

理事長 トヨタ自動車(株)取締役副社長 渡辺 捷昭氏就任

3. 国際協力事業活動

項 目	実 施 場 所		備 考
	海 外	国 内	
研修事業	長期受託コース		3 コース メキシコ全社的品質・生産性向上研修コース、 南アフリカ中小企業経営研修コース ルーマニア生産システム改善技術研修コース
	専門家の派遣		23件 JICA、AOTS、PREXほか
	国際協力研修コース	2カ国	南アフリカ、中国
	国際協力研修コースへ専門家派遣	3カ国	インドネシア、ラオス、インド
コンサルティング教育研修	改善プロジェクト実践	C社	シンガポール
国際会議	ISO国際パートナー会議	1回	タイ

4. 東京本部事業活動

(1) コンサルティング事業

①主要コンサルティングテーマの傾向

- ・ VM（目で見る経営）活動の推進による企業体質の改革
- ・ フレキシブル生産システムの確立による生産革新の推進
- ・ ISO9000の認証取得のための品質システムの確立など

②実施プロジェクト件数 124社

(2) マネジメント研修事業

- ・ VM／目で見る経営実践のノウハウ
- ・ 目標管理制度導入のための管理者研修
- ・ ISO9000認証取得のための内部品質監査員養成など

事業名	コース	備考
マネジメント研修	16	生産・在庫・5S関係
ISO関係研修	35	ISO9000 2000年移行セミナーほか

(3) MSC会（経営戦略同好会）

異業種交流と経営研修活動 参加：24社

毎月1回講演会 12回実施

「技能五輪選手の養成を通じ未来の“匠”を養成」

(株)デンソー技術センター 代表取締役社長 生駒 昇氏 ほか

(4) 中産連VM賞（Visual Management＝目で見る経営）の授与

VM活動を推進して企業体質の革新を図られた企業の表彰

- ・ 中産連VM本賞

大豊精機(株) 平成13年7月23日

- ・ 中産連VM推進賞

新神戸電機㈱ 平成13年10月22日

5. 長野・信越地区事業活動

(1) コンサルティング事業

生産効率化プロジェクトほか 16プロジェクト

(2) 研究会・共同事業

- ・ジュニア・エグゼクティブ経営塾（二世経営者 20名）
- ・気づきによる生産革新研究会（長野県異業種企業交流研究会）ほか
5テーマ

(3) 調査・企業内研修

中小企業人材確保推進事業

（長野県印刷工業組合、南信州精密事業協同組合、塩尻アルプス工業
団地協同組合）ほか

(4) 新マネジメントノウハウ開発

- ・人為ミスを防ぐKOMIK品質管理
- ・費用原単位をモノサシとした業績管理システム

6. ISO推進事業活動

(1) 体制

- ① ISO9000/14000およびQS9000認証取得支援のためのコンサルティング機関ならびに教育機関として㈱日本適合性認定協会（JAB）から認定を受けています。
- ② 審査機関である㈱日本品質保証機構（JQA）と業務協力、サテライト機関として審査業務の支援活動を行なっています。

③ I S O 審査有資格者

主任審査員、審査員、審査員補（JRCA、IRCA、CEAR認定）総員
80名

(2) 事業実績

① I S O 9000 / 14000 関係

事業名	ISO9000関係	ISO14001関係
1. コンサルテーション	210件	110件
2. 企業内研修	168回	74回
3. 研究会	20社	26社
4. 教材販売	ISOモデラー文書管理システムのソフト販売 7件	
5. JQA支援業務	審査申請代行ほか	審査申請代行ほか
6. 公開研修	178回	83回
7. 審査員コース	10回	9回
8. 現場見学会	29回	
9. OHSAS18001審査員コース	1回	
10. HACCP（食品安全衛生システム）	1回	
11. BS7799	1回	
12. OHSAS研修	6回	
13. 情報セキュリティ	7回	
14. OHSAS18001（労働安全衛生マネジメントシステム）コンサルテーション	4件	
15. BS7799（情報セキュリティシステム）コンサルテーション	1件	

7. マネジメント営業推進事業活動

受注件数

事業名	件数
コンサルテーション	85件
企業内研修	45件
紹介セミナー	4プロジェクト、58社、参加者107名

8. マネジメント開発事業活動

(1) 主な公開研修

①第35期「経営後継者養成アカデミー」(JEA)

1年コース 220日 参加者6名

②「語り継ぐ経営研究会」(略称 加藤塾)

全5回 参加者11名

③「戦略的ITマネジメント実践研究会」

平成13年4月～9月 全6回

経済産業省情報セキュリティ政策室課長補佐 山本 文土氏 ほか

④第5回「グローバル人材養成短期米国留学コース」

留学先：米国ノートルダム大学大学院（インディアナ州）

参加者：9名 平成13年6月8日～7月1日（24日間）

⑤2001年「ビジネスイノベーションスクール」

共催：名古屋工業大学・愛知学院大学大学院

期間：平成13年10月26日～平成14年2月12日（8日間）

主な講師：名工大教授 前本 英雄氏、愛知学院大学大学院教授

佐野 守氏、トヨタ自動車(株)副会長 池淵 浩介氏、

(株)ミスミ社長 田口 弘氏、日本ガイシ(株)副社長 磯部
克氏、(株)NTTドコモ東海支社長 足立 邦彦氏 ほか

⑥P. F. ドラッカー博士研究特別講演会

共催：(株)ダイヤモンド社国際経営研究所

テーマ：「21世紀における経営革新の本質を問う」

平成13年9月27日 産業技術記念館大ホール

講師：P. F. ドラッカー博士（音声と映像で出演）、渡辺 捷昭氏
（トヨタ自動車(株)副社長）、藤島 秀記氏（(株)ダイヤモンド社
国際経営研究所常務取締役）、小林 規威氏（淑徳大学大学
院教授）、多賀 潤一郎氏（イビデン(株)相談役）

参加者：100名

⑦「P. F. ドラッカー博士特別研究会」

平成13年10月～平成14年2月 全5回 参加者19名

(2) 受託事業

「環境パートナーシップCLUB」 会員304社

会長：安井 義博氏（ブラザー工業(株)社長）

(3) 新規事業支援事業

（委託・補助事業）

①「シニア・ベンチャー・アドバイザー制度」（略称SVAP）

経済産業省委託事業

委託元：ベンチャーエンタープライズセンター

アドバイザー登録制度 登録者81名

アドバイザー派遣9件

②「地域活性化アドバイザー等支援事業」「交流型啓発事業」

中部経済産業局委託事業

アドバイス実施企業 6件（延べ20日）

「モノづくり企業のIT戦略」講演会 全10回実施

③「2001年新規起業と第二創業・新事業創出の成功要因を探る」

中小企業総合事業団委託事業

平成13年8月～11月 開催地：岐阜県 15回

開催地：名古屋大学 3回

テーマ：「産業構造の転換に伴う『ビジネスチャンスの高まり』と
起業家精神の高揚」、「第二創業、新事業創出の成功要因」
ほか

参加者延べ320名

（受託事業）

①戦略的情報化投資活性化促進事業（ITSSP）

コーディネータ交流会 11月26日 参加者24名

東海成果発表会 12月25日 参加者23名

北陸成果発表会 12月26日 参加者26名

9. トヨタ生産方式研究会事業活動

①特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

トヨタ自動車㈱ 技監 林 南八 氏

春 季	PART I（改善の進め方）	平成13年5月15日～17日	参加323名
	PART II（作業改善実習）	平成13年6月17日～22日	参加 72名
秋 季	PART I（改善の進め方）	平成13年9月4日～6日	参加323名
	PART II（作業改善実習）	平成13年10月14日～19日	参加 72名

10. 会員事業推進事業活動

(マネジメント交流センター)

①モノづくり応援フォーラム

平成14年3月19日(火)

於：三菱電機(株)名古屋製作所FAコミュニケーションセンター大ホール

講師：「進化するトヨタのモノづくり働く人の視点に立った工程づくり」

トヨタ自動車(株)取締役 佐々木 眞一氏 ほか5名

参加者：217名

②見学会シリーズ

平成14年2月～3月 浜松ホトニクス(株)ほか4社 参加者165名

③松下経営革新フォーラム

平成14年2月21日 名古屋国際会議場 参加者58名

講師：松下電器産業(株)元副社長 田原 久雄氏 ほか

松下経営革新セミナーシリーズ	15社	延べ191名
----------------	-----	--------

④公開セミナー

コース名	開催回数	参加者
1. 階層別基本研修	32	724
2. 製造部門階層別研修	11	170
3. 接遇・ビジネスマナー	6	57
4. 生産部門研修	15	169
5. 購買・生産管理部門	8	74
6. 生産技術・開発部門	15	160
7. 設計・製図関係	5	97
8. 営業部門関係	17	181

9. 経理部門関係	7	96
10. 人事部門関係	7	80
11. ヒューマンネットワーク事業	4	32
12. 紹介セミナー	12	132
13. その他	2	25

⑤企業内事業

企業内研修	97社	170プロジェクト
-------	-----	-----------

⑥受託事務局

日本設備管理学会 東海支部

(マネジメント啓発センター)

①「2001年中産連産業技術研究会」

平成13年8月～平成14年2月 全6回

コーディネータ 名城大学教授 石原 荘一氏

「21世紀の生産システムとその展望」

(株)デンソー常務取締役 松本 和男氏 ほか

参加者：33社 35名

②「中国古典に学ぶリーダーの要諦経営講座」

平成13年9月～平成14年1月 全5回

講師：守屋 洋氏（中国文学者）

参加者：18社 19名

③2002年経営イノベーションフォーラム

平成14年3月8日

「日本のものづくり企業の将来展望と戦略」

講師：藤本 隆宏氏（東京大学教授）ほか

参加者：50社 60名

④公開コース

物流関係ほか	13コース	290名
--------	-------	------

（マネジメント事業プロジェクト）

コース名	開催回数	参加者
1. 研究会	4	114名
2. フォーラム	4	103名
3. 公開研修	38	延べ1,046名

(2) 海外視察団派遣

「'01ハノーバーメッセ視察と日欧技術交流団」

平成13年4月22日～29日（8日間）

訪問都市：フランクフルト、ハノーバー、カーディフ、ロンドン

(3) シンポジウム

「ロボットシンポジウム名古屋」

平成14年2月12日(火) 参加者238名

基調講演：「ロボット技術の産業応用」ほか

(4) 受託事務局

(社)日本バリュー・エンジニアリング協会中部支部

（会員サービスセンター）

(1) 「プロGRESS」（月刊マネジメント専門誌）の発行 毎月2,600部

(2) 会員懇話会 毎月1回 無料公開、参加各回200名

「倒産急増の凄まじき実態とその対策」

熊谷 勝行氏（帝国データバンク情報部長）ほか

(3) 中産連ホームページ提供

中産連紹介、会員企業へのリンクサービス、電子メールによるセミナーの申込み、情報提供ほか

(4) 中産連人材育成フォーラム

平成13年11月16日 参加者180名

(5) 中産連公的助成金紹介セミナー

平成14年3月15日 参加者180名

(6) 受託事務局

- ・日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部 毎月例会 参加者20名
- ・日本広報学会 中部部会 随時開催 参加者20名～30名

11. 理事会・総会

- (1) 第234回理事会 平成13年5月23日開催（理事49名、監事1名出席）
- (2) 平成13年度通常総会 平成13年6月15日開催（634会員出席）
- (3) 第235回理事会 平成13年11月19日開催（理事49名、監事1名出席）
- (4) 第236回理事会 平成14年3月11日開催（理事49名、監事1名出席）

会勢 910社（平成14年3月31日現在）

以上、諸活動の結果として収支実績は、本年度総収入予算23億4,850万円に対して24億927万円（対予算比102.6%）でありました。